

カウンスリングのお作法 第十八回

CONカウンスリングオフィス中島 中島水鳥 弘美

★ グループと事例検討

困難な状況に陥っている人々のカウンスリングは、順調に解決に向かうばかりでなく、停滞することがあります。

そのような場合、カウンセラーは、スーパーバイズを受けたり、職場の会議や研究会で事例について、参加者に考えてもらったりするなど、カウンセラーをサポートする方法があります。今回は、グループと事例検討について考えてみます。

事例検討の傾向

スムーズに進んでいないケースについて、検討を依頼するとなると、事例を提出する人が、少し負担に感じる場合があります。

事例提供をする人は、できるだけ早く今後の見通しをつけたいと思いつつも、検討会の準備のために経過の文書を作成するなど、時間をとられます。

時間の負担だけでなく、どんなことを指摘されるかも正直、気になります。まな板の鯉になった気分とを感じる人もいます。

というのも、職務経験が浅い人ほど、自分のやり方がまずいから、解決に至っていないと考える傾向があるのです。

一方、経験が比較的長い人は、うまくいかなのは、クライアントや家族の問題の根が深くてややこしい、そのため、この事例の課題はクライアント側にあると、とらえてしまう傾向があります。

今後どうするかが描きにくい

事例検討そのものに注目してみると、これまでの事例検討の進め方の多くは、何が悪いのか、誰のどの行動が適切でないかなどの問題点指摘や原因追求の話題が中心で、次につながる具体的な話が出てきません。

そして、事例検討に参加している構成メンバーの発言は、経験の豊かさからの意見が重視される傾向があります。

もうひとつ、事例の中で特徴的な話題が見つかるとその話題に集中するあるいは、その反対で話題があちこちに飛んで、深まらないなど、今後の方針について、描けなくなるのです。

これまでの事例検討の傾向

- ・ 何が悪いのか原因追及が中心になり、具体的な対策が立てにくい
- ・ 経験の豊かさからのアドバイスが優先される
- ・ 話題があちこちに飛ぶ、あるいはある一定の話題を繰り返す



事例検討会、実は気が重いです、
資料作りに時間がかかるし、何を
指摘されることやら、、、

はてな子さん カウンセリング初学者



事例検討の目標は次が見えること

- ・ とびぬけた支援方法があるわけではない
- ・ 支援にかかわっている人および支援を必要としている人とその家族が何とかやれているところに注目しながら、今後どう変化していくのがよいかを描く
- ・ 事例検討の目標は、支援にかかわっている人たちが
あっと 発見がある **ほっと** 安心が見つかること





『グループと事例検討』

事例検討で大切なこと

事例検討は提供者中心に

事例検討をする上で大切なことは、事例提供者が多くの人々の声を聴くことで、よかったと思うこと、つまり、今後どんな行動をしていくのが良いのかが自然に浮かび上がることです。事例検討は、ずば抜けた解決法がすぐに見つかるわけではないことをおさえてから、取り組めます。

ここで前々回お話ししたリフレクティングの再登場です。

リフレクティングチームの事例検討版（表）は、いくつかの利点があります。

まず、事例提供者の負担はほとんどありません。経過文書を作成する必要はなく、その場で

事例について話します。そのため、緊急時に関係者が話しあうときに適しています。

必要なことは、どうしてその事例をとりあげたのか、何を望んでいるのかの理由を明確に伝えることです。

事例の詳細は必要ではなく、事例検討に協力してくれる人たちに、事例提供者が知っておいてもらいたいと考える情報を優先に話します。これは事例提供者が判断をして語ります。その段階を経て、A 質問時間がスタートします。

気付きにつながる問いかけ

事例検討協力者は、ひとり、ひとつずつ、質問を事例提供者にしていきます。このとき、事

例の詳細をたずねる問いかけではなく、解決につながるような、気付きを促進するような問いかけであることがなによりも、鍵になります。

B 事例検討協力者役すべての話し合い

さらに、効果的と考えられることは、さまざまな角度から事例を考えることができることです。話し合いの時間は何を話しても良いフリートークです。話題があちこち飛ぶことがあったとしても、事例提供者は、その話し合いを黙って聴いているだけで、必要とする点を中心に受けとめます。どのような話し合いがなされていても、大きく影響することはなく、事例提供者が必要を取捨選択できる自由が確保されています。

リフレクティングチーム 事例検討版

かかわっている事例を取りあげ、グループ全体の力を借りて、問題解決する体験

進め方 それぞれの役割を決める

事例提供者役 1名 事例検討協力者役 事例検討に直接協力する人 5～6名

オブザーバー役 事例検討全体を見守る人 何人でも可

→さまざまな意見を聞きながら、感じたこと、浮かんできたことを確かめながら進行を見守る

	時間	事例提供者役 1名	事例検討協力者役 5.6名
A 質問時間	45～ 60分 (8分)	<u>準備 0</u> 事例提供者は、どうしてその事例を取りあげたのか、その理由、何を得たいと思っているのかの内容を説明する。(事例の詳しい説明は不要) 例 私がよく陥るパターンである いろいろな人の意見をききたい 具体的な方法対策を望んでいる <u>スタート 1</u> 提供者が現在、困っていること、事例を簡潔に説明し、事例検討協力者役からの質問に順番にこたえていく。 (答えながら頭の中に浮かんでくことに注目する)	協力者役は決められた時間まで、ひとり一問ずつ順番に提供者役に質問をしていく。 そのときに、事例提供者役が、 ・どのようなことを話したがっているのか、 ・解決力を引き出すにはどうしたらいいのか、力づけることを想像しながら質問、問いかけをする 例) これからどのようになっていったら良いと思いますか？(目標設定 方向確認) 例) 最も恐れていること、心配していることはどんなこと、どうなることですか？ 例) これまでためしてみたことで少しでも役立ったこと、効果があったことはどんなことですか？ 例) 現状を維持するために配慮すべき点はどんなことだと思いますか？
B 事例検討協力者役すべての話し合い時間	25～ 30分 (5分)	少し席を離れて、座る (絶対に言葉を発しない、顔かない) 協力者役達の話し合いを黙って聴き、自分の内面に浮かんでくる思い、考え、ひらめきなどを確かめる。	事例提供者が聴いていることを前提に、事例について、事例研究協力者役全員で自由に話し合う。共感したところ、具体策、提供者さんの良い点、うまくいっている点のまとめ、経験談、社会資源の提供、評価、感想……など。(事例提供者さんに絶対に話しかけないこと、追加で質問しないこと) オブション ★時間があるときオブザーバー役が自由な感想を述べる
C 事例提供者の感想発表	5～10分 (1分)	Bの話し合い(+オブザーバーの感想)を聴いて、感じたことを自由に話す	協力者役の話し合いのどの部分が役に立ったのかを確かめながら、事例提供者の話、感想を黙ってきく

参考文献「ナラティブ・セラピー～社会構成主義の実践～」シーラ・マクナミー ケネス・ガーゲン編 野口裕二・野村直樹訳金剛出版 1997年



『グループと事例検討』

リフレクティングチーム事例検討版の効果

オブザーバーの助け

事例について直接考える、事例検討協力者以外に、オブザーバーの存在があります。人数は何人でもかまいません。

事例について話し合いをしている人と、事例提供者を含めた全体を見守る役割は、直接かわっていかないからこそ、気がつく点があります。

事例検討協力者の話し合いが順調に進行すると良いのですが、ときに客観的に考えられていない場合や、大切な点を見逃して、ヒートアップしてしまうこともあります。そのようなとき、オブザーバーからの意見が大いに助けになります。

時間にゆとりがある場合は、オブザーバーが

らの感想を、事例提供者に示します。そのことでより全体的な視点から事例をみるようになります。

C 事例提供者の感想発表

事例提供者の感想を聴きながら、参加者の意見のどのような点が役立ったのかに注目します。

ここでは、自由に感想を話せる雰囲気求められる。何が役に立ったのかを実感できるのは、事例提供者本人だけだからです。

このあと、追加で質問をしたり、提案をしたりすることはできません。この相互のやりとりが事例検討の成果を象徴するところです。

ひとり事例検討

もしも私が事例提供者の立場ならどう考えるか、クワイエントの立場だったらどう感じるのかなど、事例を通して学ぶことはとても有意義です。しかし、事例検討は長時間かかる場合もあります。また、どうしても事例検討する環境が整えられていないこともよくあります。

そこで、一人何役もこなしながら、ひとり事例検討をするのもひとつの方法です。その点検項目を取り上げました。

家族の建設的なところ、強みは何かなどを自問自答することで、かかわっているケースを見直します。



ひとりで事例検討する場合の点検内容を
掲げてみました！
解決につながるような問いが中心です

CON 子さん 心理カウンセラー

ひとり事例検討 点検項目

- 質問 1 このひとり事例検討会から何を得たいと考えますか
- 質問 2 クライアントさんやそのご家族の建設的な能力関心態度
(強み) はどのようなところですか
- 質問 3 クライアントさんやそのご家族について何が心配ですか
- 質問 4 すでにトライしたことは何ですか
- 質問 5 どんな効果に気がつきましたか
- 質問 6 望ましい行動がおこるときはどんなときですか
- 質問 7 そのとき何が違いますか



家族の強み
は何だろう

自問自答するひとり事例検討



ひとり事例検討って
自分で点検するんだ
客観的になれるかど
うかむずかしい

はてな子さん カウンセリング初学者